

横浜市野島周辺で得られたカニ類 2 稀種の記録

萩 原 清 司

Kiyoshi HAGIWARA: Record of Two Rare Crabs
Found near Nojima, Yokohama

はじめに

野島は、横浜市金沢区の東京湾岸に位置する周囲約 2.5km の島(町区)で、夕照橋と野島橋によって対岸と連絡している。野島の北東岸は金沢湾と呼ばれる小湾に面し、前浜型の砂質干潟を形成する。南西岸は、小河川が流入する汽水域である平潟湾に面し、潟湖型の砂泥質干潟を形成する(図1)。

野島を含む金沢区周辺の干潟に生息するカニ類については、村岡(1974)により26種が報告されているが、その後周辺水域の埋め立ての進行や、水質環境の変化により、生息種数は減少の傾向にあると考えられる。そうした状況の中、全国的にも過去の採集例が少なく稀な種と考えられるカニ類2種が当水域より得られたのでここに報告する。

カニ類 2 種の記録

1. *Acmaeoppleura toriumii*

1990年7月9日に野島北東岸の砂質干潟(図1, A)で1個体を採集した(葉山しおさい博物館資料 HSM-cr-0103: 表1, A)。甲長5.6mm, 甲幅6.2mmの雌で、抱卵個体であった。生時の体色は暗灰色で、甲の後縁と脚に白色斑紋が存在した(図2, A)。本種は、宮城県女川湾において得られた個体をもとに TAKEDA(1974)が新種として記載したイワガニ科のカニで、日本産で同属の近縁種としてはヒメアカイソガニ *A. parvula*, ヒメアカイソモドキ *A. depressa*, オオヒメアカイソガニ *A. balssi* がある。採集例としては模式産地のほか、佐渡島の藻場での記録のみで、今回が本種について3地点目の記録となる(武田, 私信)。本個体は大潮干潮時に干出する場所でタマシキゴカイの糞塊中より採集された。タマシキゴカイとの関連については不明であり、過去にもタマシキゴカイとの関連を裏付けるような知見がないこと、すばやく砂中に潜る事がで

きるという情報などから、偶然糞塊中に潜った個体が採集されたものと思われる。

2. チチュウカイミドリガニ *Carcinus mediterraneus*

1990年6月11日に野島南東の野島水路(図1, B)で大潮干潮時に水深約50cmの砂泥底より、たも網で採集された(HSM-cr-0102: 表1, B; 図2, B)。本個体は甲長11.8mm, 甲幅15.0mmの雌の幼ガニであった。続い

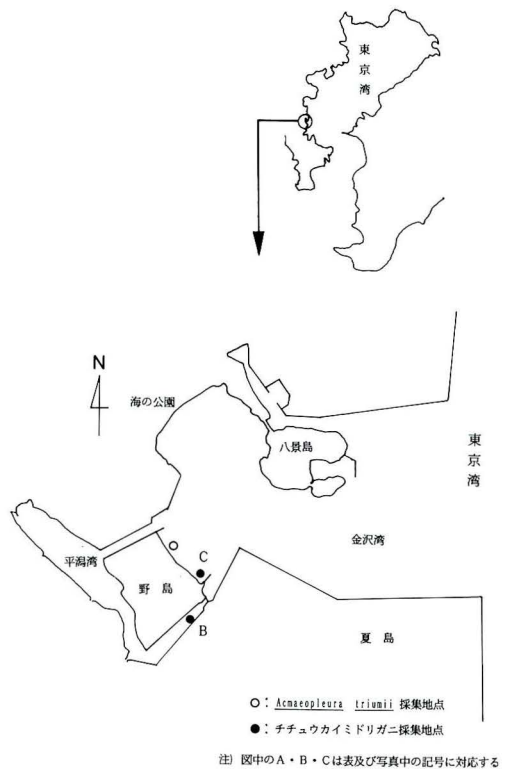


図1. 採集地点

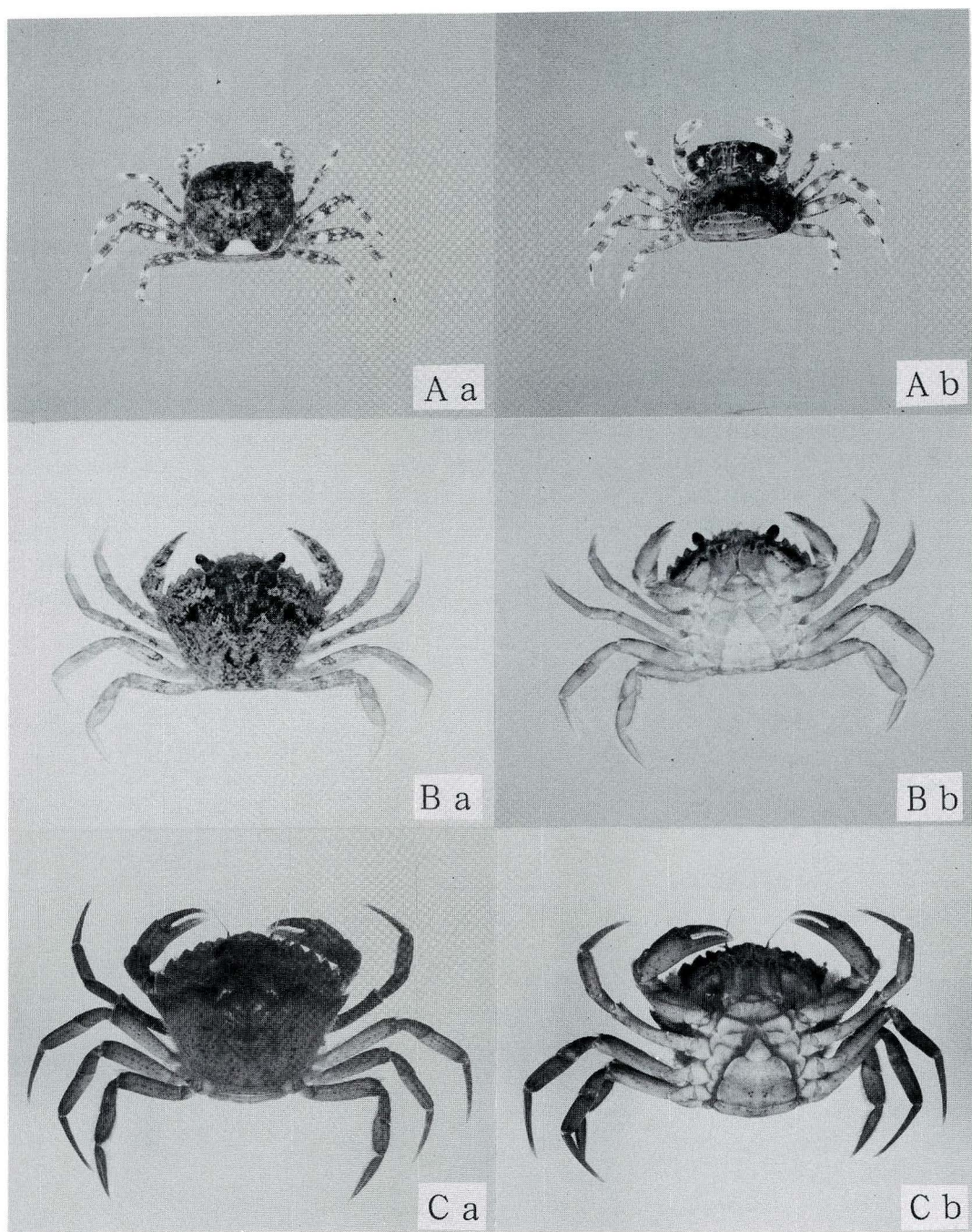


図2. 採集個体, Aa: *Acmaeopleura toriumii* 背面, Ab: *Acmaeopleura toriumii* 腹面, Ba: チチュウカイミドリガニB個体背面, Cb: チチュウカイミドリガニB個体腹面, Ca: チチュウカイミドリガニC個体背面, Cb: チチュウカイミドリガニC個体腹面.

注) 記号A, B, Cは図1, 表1に対応する.

表1. 採 集 個 体 の 計 測 値

Acmaeopleura toriumi の計測値						
図中記号	標本番号	採集年月日	性別	甲長 (mm)	甲幅 (mm)	備 考
A	HSM-cr-0103	1990年 7月 9日	雌	5. 6	6. 2	砂質干潟で採集 抱卵個体

チチュウカイミドリガニの計測値						
図中記号	標本番号	採集年月日	性別	甲長 (mm)	甲幅 (mm)	備 考
B	HSM-cr-0102	1990年 6月11日	雌	11. 8	15. 0	砂泥質海岸において たも網で採集
C	HSM-cr-0104	1990年10月 5日	雌	30. 5	38. 7	砂質海岸において 投網で採集

て1990年10月 5 日、野島東岸 (図1, C) の水深約70cmの砂底から投網によって採集された (HSM-cr-0104: 表1, C: 図2, C)。本個体は甲長30. 5mm, 甲幅38. 7mmの雌であった。

本種は、地中海を原産とするワタリガニ科のカニで1984年東京湾横浜沖の水深 5 ～10mから採集されたものが国内における 最初の記録である (酒井, 1986)。1985年 7 月 (池田, 1989) の後は記録が途絶えており, 5 年ぶりの採集記録となった。しかし, 地元漁業者からの聞き込みによれば本種はカニ籠漁によってしばしば捕獲されるとのことで, 横浜市沿岸域には実際はかなりの数が生息していることが推測される。

謝 辞

本報作成にあたり試料の同定と有益な助言をいただいた国立科学博物館技官武田正倫氏ならびに葉山しおさい博物館学芸員池田 等氏に感謝の意を表する。

また, 投稿の機会を与えて下さった神奈川県立博物館学芸員高桑正敏, 中村一恵の両氏ならびに原稿の校

閲をいただいた横須賀市自然博物館学芸員林 公義氏に厚く御礼申しあげる。

文 献

- 池田 等, 1989. 東京湾のチチュウカイミドリガニ. 神奈川自然誌資料, (10): 83-85.
- 村岡健作, 1974. 横浜市金沢付近のカニ類について. 神奈川県立博物館協会々報, (31): 7-12.
- 酒井 恒, 1976. 日本産蟹類. pp. 398-399. 講談社, 東京.
- 酒井 恒, 1986. 珍奇なる日本産カニ類の属と種について. 甲殻類の研究, (15): 1-5, 3図版.
- TAKEDA, M., 1974. Account of some crabs from Mutsu Bay, with description of a new grapsid from Onagawa Bay. *Bull. mar. Biol. Stn Asamushi Tohoku Univ.*, 15: 12-21.
- (鹿島建設技術研究所山山水産研究室)